第2章 Accord Technology デザイン エクステリア

端正な3ボックススタイル、知性と大胆さを兼ね備えた表情

セダンらしいフォーマルさを持った、端正な3ボックスのたたずまいを丹念に磨き上げるとともに、ゆとりの室内空間へと誘うような、外見からも爽快感を予感させるフォルムを追及しました。 知性と大胆さを兼ね備えた表情、先進のLEDヘッドライトをはじめ、

ディテールまで徹底的に造り込むことで、乗り手の誇りを表現できるスタイリングとしています。

フロントビュー

空力特性を磨いた美しいフォルムの中 に、知性と大胆さを感じさせる表情を 採り入れました。

大開口のグリルは上質なブラック塗装のハニカム形状とし、存在感と上質感を表現。バンパー下部にあしらったメッキ仕上げのバーで、軽快な走りの印象をさらに際立たせました。





LEDヘッドライト

ロービームにはHonda初のLEDへッドライトを採用。インナーレンズで四角い無垢の塊として表現した片側2灯プロジェクタータイプとし、LEDの先進感を強調しました。ハロゲンタイプと比較して2倍の光量を持ちながら、消費電力は1/2以下とし、燃費性能向上にも寄与。HIDと比較しても、点灯直後から明るさが最大となるという魅力も備えます。 **数値はHonda測定値。

リアビュー

キャビンからトランクへと絞り込んだ面と、リアフェンダーの張りだした面との構成で、タイヤが地面にしっかりと踏ん張っている安定感あるたたずまいを表現しました。さらに、リアコンビネーションランプにつながったメッキガーニッシュの構成でワイド感と、威風堂々とした存在感を強調。リアコンビやリアバンパーのエッジを立てることで、空力性能向上も図っています。



サイドビュー

ノーズからトランクにかけて水平基調に ボディ骨格をつくりあげ、伸びやかで力 強い、セダンらしいたたずまいをつくりあ げました。ボディサイドには彫りの深い ネガ面から構成されるシャープな2本 のキャラクターラインを与えるとともに、 前後フェンダーを力強く張り出す造形 とすることで、立体感と躍動感を生み 出し、上質な面質をつくりあげました。



アルミホイール

ホイールには、軽量で空力性能に優れた、ディッシュタイプ風の 専用アルミホイールを採用しました。

足まわりを精悍に見せるとともに、ホイールまわりに発生する空 気の乱れを抑制することで空気抵抗を低減し、燃費性能向上 に寄与しています。



スタイリングを際立たせる、上質感を持った ボディカラー



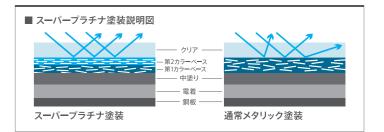
「LIQUID TENSION COLOR」をコンセプトに、 液体の表面に見られるような「張り」のある質感を追求。

アコードハイブリッドのための新色「シャンパンプラチナ・メタリック」は、

上質な面構成をさらに際だたせる「スーパープラチナ塗装」を用いて、 なめらかさと硬質な金属の質感を表現しています。

アコード ハイブリッド ボディカラーバリエーション

- ●シャンパンプラチナ・メタリック
- ●アラバスターシルバー・メタリック
- ●モダンスティール・メタリック
- ●ホワイトオーキッド・パール
- ●プレミアムスパークルブラック・パール



スーパープラチナ塗装のメカニズム

通常のメタリック塗装では、アルミ顔料を含んだカラーベースを1 層塗りしているのに対し、シャンパンプラチナ・メタリックに採用したスーパープラチナ塗装では、特性の異なる2つのカラーベースを使用。この2層間の作用によりアルミ顔料の配列を一定方向に整えることで光の乱反射を抑制し、粒子が緻密な無垢の金属のような輝きを生み出します。